

「東日本大震災」 災害支援活動速報

第9報 (2011-4-12)

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田 2-2-8 「全国財団」ビル4F TEL.03-3202-5661 FAX.03-3202-7235

1. 会員、支部の安否情報と医療機関情報

前号から少し間が空きましたが、4月5日以降本日までの会員さんの安否情報です。協会では、現地支援に向けた具体的な準備に、災害支援対策本部を中心に取り組みます。

1). 福島県支部・全会員の安否確認を終了

吉田代表から、前号でお伝えしました宮城県に引き続き、嬉しい情報が届きました。県内全会員の無事が確認できました。会員からの安否確認ハガキの返信も届いていますが、支部事務局などが地道に行ってきた全会員への電話アプローチの積み重ねにより達成できた成果です。支部の皆さんお疲れさまでした。そして、会員の皆さまのご無事を、こころからお喜び申し上げます。

2). 被災地域全会員の安否確認

東北6県および茨城県の全会員(387人)宛に送付した往復葉書は、本日現在で218通の返信がありました。各県別の内訳は次のとおりです。青森県(17通)、岩手県(30通)、宮城県(31通)、秋田県(23通)、山形県(24通)、福島県(30通)、茨城県(59通)、住所不明(4通)。現在、各支部へ会員さんからの返信内容をお届けし、これに各支部で把握している安否情報の照合を進めています。この後は、未確認会員に対して協会からさらに確認作業を集中的に実施します。

3). 被災地域でてんかん医療を行っている医療機関情報

被災地などで、てんかん医療を提供している医療機関情報を、日本てんかん学会などの協力を得て協会ホームページで更新・公開中です

2. 支援活動状況

被災地での支援体制が確立しました。また、他機関・団体との協力にも取り組んでいます。

1). 宮城県に現地対策支援センターを設置しました。

宮城県支部が中心となり仙台市内の宮城県障害者福祉センター内に、現地対策の拠点となる支援センターを設置しました。また、専用の携帯電話も設けました(080-1668-3950)。日本知的障害者福祉協会の現地対策本部とスペースを共同利用します。また、岩手県支部では県難病相談支援センターにおいて、てんかん相談も受ける体制を整えました(共用電話/019-614-0711)。これらの情報は、各県内のマスメディアを通して周知が始まりました。なお、仙台市内に設置された日本障害フォーラム(JDF)の支援センターとも、今後連携を行っていくことを確認し、連絡会議には支部代表も参加しています。

2). 4月6日～8日にかけて先遣隊を派遣しました。

常務理事と事務局長が現地で松崎理事と合流し、宮城・岩手両県に現地視察と情報収集を目的に入りました。医療機関ではてんかん医療の現状を伺い、今後は避難所や在宅の患者さんに向けた支援の取り組みを確認し、当事者からの被災による不安などの生の声も伺えました。また、ある避難所を訪問した際には、家を津波で壊された会員ご夫妻に会うことができ、生きていることを喜び合いました。各県、市(県庁所在)、県社会福祉協議会にも、支援要請を行ってきました。最終日には、大きな余震に見舞われ大停電など被災者の大変な生活を少しばかり垣間見る体験もし、大変収穫の多い行動となりました。

3). 「東日本大震災支援募金」累計額：2,125,272円(本日現在)